

事業名：街路灯設置費補助金

市民生活課 市民活動係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	01 安全な暮らしの確保								
基本事業	02 防犯活動の推進								
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
自治会・商店街・工業団地	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市街路灯補助金交付規則に基づき、自治会・商店街・工業団地がそれぞれ設置する街路灯の新設及び更新に要する費用の一部（1/2～1/3）を補助する。 【23年度から、LED灯への補助メニューを追加。補助金額（共架式1灯当り）20w以下1/2又は25,500円、21w超1/2又は30,000円】 【25年度から、LED灯への更新に対する奨励金及びリース方式でのLED灯導入に対する補助金を追加。リース方式についてはモデル地域を選定しての試行。】 【26年度から、補助対象をLEDのみとした。】	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
自治会・商店街・工業団地が地域に防犯灯を設置し、自ら地域環境整備を推進することにより、夜間における犯罪防止と交通安全の確保、商店街の美観維持、工業団地内の保安及び環境整備が図られる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	自治会数	自治会	162	162	162	162
対象指標2	商店街・工業団地数	団体	11	11	11	11
活動指標1	補助金額	千円	9,797	8,665	17,139	46,223
活動指標2						
成果指標1	設置費を補助する街路灯数	基	524	422	972	2,032
成果指標2	自治会等が管理する街路灯数	基	8,536	8,563	8,603	8,684
事業費(A)		千円	9,797	8,665	17,139	46,223
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	3,907	6,259
総事業費(A+B)		千円	11,402	10,268	21,046	52,482

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	平成23年から平成24年にかけて他種類防犯灯からLED灯に更新した防犯灯に対する奨励金の支給 平成25年度に設置した防犯灯に対する補助	LED化促進奨励金 3,703千円 設置費補助金 13,436千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
安全で快適な都市環境の充実。	
事業を取り巻く環境変化	
省エネ効果大きいLED灯の価格が普及促進により低減傾向にあり、今後の更なる普及が期待される。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 地域の生活道路における夜間の交通安全と犯罪防止のため、自治会等が地域の実情に応じ、自主的な整備と維持管理を行うことに対し、市が補助を行うことは妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 防犯灯は、市民の安全で快適な生活の実現に必要不可欠であり、貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 平成26年度から補助対象をLED灯のみと改正しており、節電と環境負荷低減の効果は上がっている。 平成25年度末で、防犯灯のLED化率が約18%となるなど、自治会等の理解と協力により着実に成果がでている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 平成25年度に3か年間の「江別市街路灯LED化促進奨励金」制度を創設したことにより、防犯灯の早期LED化促進が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠 LED化が促進されることにより、防犯灯の長寿命化が図られるため、中長期的にコストが削減される可能性がある。